**令和４年度第２回大阪府中小企業支援交付金有識者会議　議事概要**

１．開催日時

令和４年11月１日（火曜日）　13時～15時

２．開催場所

大阪産業創造館 ５階研修室AB

３．出席者

【委　　　員】風谷委員、福岡委員、文能委員、松本委員（五十音順）

【大　阪　府】商工労働部商工労働総務課参事、外４名

【大　阪　市】経済戦略局産業振興部企業支援課長、外２名

【大阪産業局】専務理事、外５名

４．議題

　 （１）令和４年度交付金事業の進捗状況について

　 （２）令和５年度交付金事業の方向性について

５．委員からの主な意見

○令和４年度交付金事業の進捗状況について

・年間目標値に対する上期の達成状況について、数値としてはわかるが、達成された具体的な中身がわかると良い。

・各支援拠点と実施する事業を紐づけるのではなく、建物の維持管理・収支管理と支援事業とは切り分けて考えて貰いたい。

・令和４年度上期の結果を踏まえて、下期はどのように取り組むか。重点化する分野など、具体例を示していただくほうが良い。

・日本の競争力が低下している状況において、人的投資が重要と考える。経営者を育てるカリキュラムについて、これまでのやり方を変えていくことが必要。

○令和5年度交付金事業の方向性について

・事業のKPIが個々に細かく設定されているように見えるため、支援の最適化を念頭に、KPIを設定する事業の括りをもっと大きくしていくべき。

・事業間での予算の融通に都度協議が必要というのは、事業実施のスピード感を損なう原因となるため、解決すべき問題と考える。

・府として、今後どのような企業を育成・成長させていくのか、将来に向けた展望が見えるように議論、検討していってもらいたい。